

DIDIER GALAS ■ ディディエ・ガラス

PERFORMANCE & WORKSHOP ■ 8年ぶり来日

2010-2014

『アルルカン、天狗に出会う』
"Le petit (H)arlequin"

2014-2016

『ことばのはじまり』
"The Invention of the Word"

2024

『アフメドは語る
音にのせて』

"Ahmed comes back, words & music"



theater
music
philosophy
politics
mask
racism
Alain Badiou
être
événement
subject
humor

フランス 仮面劇の伝統と
超絶テクニク
で見せる **一人芝居**

鳥取 TOTTORI

28-29 Sep

京都 KYOTO

02-03 Oct

広島 HIROSHIMA

06-07 Oct



"Le petit (H)arlequin"



"The Invention of the Word"

現代フランス最高の哲学者
アラン・バディウ
のテキストを基に、
人種差別に対する哲学的
な問いを、**音楽と笑いに**
のせて語る

ikiiki-tsushin

左京東部 いきいき通信

August. 2024

Vol. 18

国際交流 特集

ディディエ・ガラスー人芝居 / Didier Galas solo performance

アフメドは語る
Ahmed comes back, words & music
音にのせて

左京東部いきいき市民活動センター1楼の文化祭(前期)演劇公演

10/20*・30* Oct 2nd and 3rd 19:00 開演

左京東部いきいき市民活動センター 集金室
Sakyo Toubu-ikiiki shimin katsuudou center

音楽・演奏: 野村 龍 / Rikoto Nomura



DIDIER GALAS

1980s

1985 年、フランス国立高等演劇学校 (コンセルバトワール) に入学。クロード・レジ、ベルナール・ドート、マリオ・ゴンザレスらに師事する。

1990s

1998 年、京都の関西日仏交流会館「ヴィラ九条山」でのレジデンスの機会を得て、金剛流能楽師・宇高通成氏の元で能の修行を積む。

1999 年、中国・北京に赴き、国の主導的なカンパニーでもある京劇の Li Guang 師の元で鍛錬を積む。

2000s

2000 年、『モンキービジネス』がアヴィニョン国際演劇祭で初演、ポルトガルのアルマダフェスティバルではグランプリに輝く。

2010s

2010 年、作・演出・出演作品『アルルカン、天狗に出会う』を京都の小劇場「アトリエ劇研」に招待し大きな反響を得る。その後、東京、横浜、静岡、広島、福岡、鳥取、三重、京都府綾部市でも上演。

2014 年、公演ツアーに合わせ各地で実施したワークショップ参加者から選抜された俳優・ダンサーとともに、新作『ことばのはじまり』を製作。京都、三重、鳥取公演に続き、2016 年には東京でも上演し、好評を博す。

2020s

2024 年、フランス仮面劇の伝統と超絶テクニックで見せる一人芝居、そこに音楽家 野村誠によるオリジナル楽曲が合わさった最新作『アフメドは語る 音にのせて』を鳥取 (鳥の演劇祭)、京都、広島で上演する。京都と広島ではワークショップも開催。

Didier Galas will come to Japan after an 8-year absence!

"Ahmed comes back, words & music" combines a one-man show with the tradition of masked theater and superb technique with original music by musician Makoto Nomura. Performances in Tottori (BIRD Theatre Festival), Kyoto and Hiroshima, and workshops in Kyoto and Hiroshima.

PERFORMANCE

Story

アフメドというキャラクターが現代社会をユーモアと音楽で包んで語る。アフメドは移民をモチーフにしたキャラクターで、仮面をつけて演じられる。しかし、そのキャラクターは特定の誰か、特定の民族をあらわしてはいない。誰でもあり、誰でもない、普遍的な誰かなのだ。様々な楽器と歌のライブパフォーマンス、多様な音楽が作品をいろどり、多言語で演じられるこの作品の奥には「人種差別に対する哲学的な問い」が流れる。

2018 年にアヴィニョン演劇祭で初演。その後フランス各地や海外での上演を経て、日本初演を迎える。

*英語とフランス語での上演

*日本語字幕

"Ahmed comes back, words & music" is a project that involves the intersection of several disciplines: theater, music, philosophy and politics. The work begins with an exploration of both textual and musical writing. The central subject of the project will be the philosophical question of racism, conveyed through humor and the mechanics of laughter. The challenge will be to observe how an insular culture like that of Japan might consider such an endeavor.

*English and French with Japanese surtitles

TOTTORI

9/28 (sat) 13:30

9/29 (sun) 13:30

鹿野往来公民館 童里夢

(鳥の演劇祭 17 参加作品)

Adult ¥2,800

Under 18 ¥500

KYOTO

10/2 (wed) 19:00

10/3 (thu) 19:00

左京東部いきいき市民活動センター
集会室

Adult ¥3,500

Student ¥2,500

HIROSHIMA

10/6 (sun) 14:00

10/7 (mon) 19:00

山小屋シアター

Adult ¥3,500

Student ¥2,500

Reservation



WORKSHOP

About

仮面劇とアイアンガーヨガをカンヌとマルセイユにあるフランス国立の俳優養成機関 École Régionale d' Acteur of Cannes and Marseille で指導するディディエ・ガラスによるワークショップ。

フランスやイタリアの古典劇コメディ・アデルルテの解説、フランスに見る古典劇の現代劇への応用についての解説、身体に重きをおいた演技技法の実践を行います。

*フランス語でのワークショップ

*日本語通訳あり

*本格的に演劇をしている方、演劇の勉強をしている方向け

Commentary on traditional French drama and acting workshop by Didier Galas

*Conducted in French & Japanese interpreter

*This content is for people who are involved in theater or studying to become actors.

KYOTO

9/23 (mon/pub) 14:00-17:00

左京東部いきいき市民活動センター
集会室

Adult ¥4,000

Student ¥2,000

HIROSHIMA

10/5 (sat) 14:00-17:00

広島市中央公民館大集会室

Adult ¥4,000

Student ¥2,000



Resevation



左京東部いきいき市民活動センター

〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町 3-2

TEL : 075-761-1385 FAX : 075-752-3350

MAIL : info@se-ikiiki.com

HP : http://gekken.net/SE_IKIKI/

開館時間 : 10 時 ~ 21 時 (日曜日は 17 時まで)

休館日 : 火曜日・年末年始 (12/29 ~ 1/4)

アクセス : 京都市営地下鉄 蹴上駅より徒歩 15 分

バス停「東天王町」より徒歩 5 分

※駐車場はありません。公共交通機関やコインパーキングをご利用ください。

発行 : 左京東部いきいき市民活動センター 発行日 : 令和 6 年 8 月 20 日